

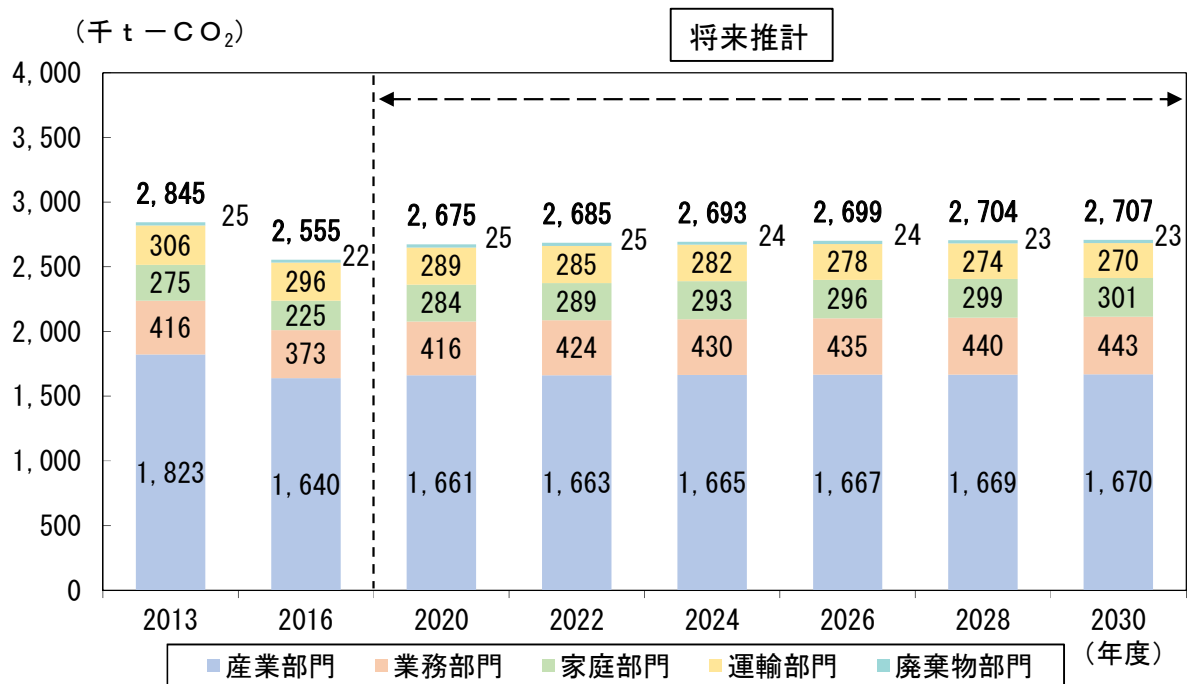
第3章 土浦市の温室効果ガス排出量の将来推計と削減目標

第1節 温室効果ガス排出量の将来推計

市域の温室効果ガス*排出量の将来推計は、過去10年間の実績を基に、各部門が現状で推移した場合の将来推計を算出しました。

その結果、運輸部門及び廃棄物部門は微減傾向を示しました。しかし、産業部門・家庭部門・業務部門は2016（平成28）年度と比較し増加する見込みとなっていることから、温室効果ガス*排出量は微増していくものと考えられます。

※推計方法については、資料編に記載しています。



※少数の計算の関係上、合計値が一致しない場合があります。

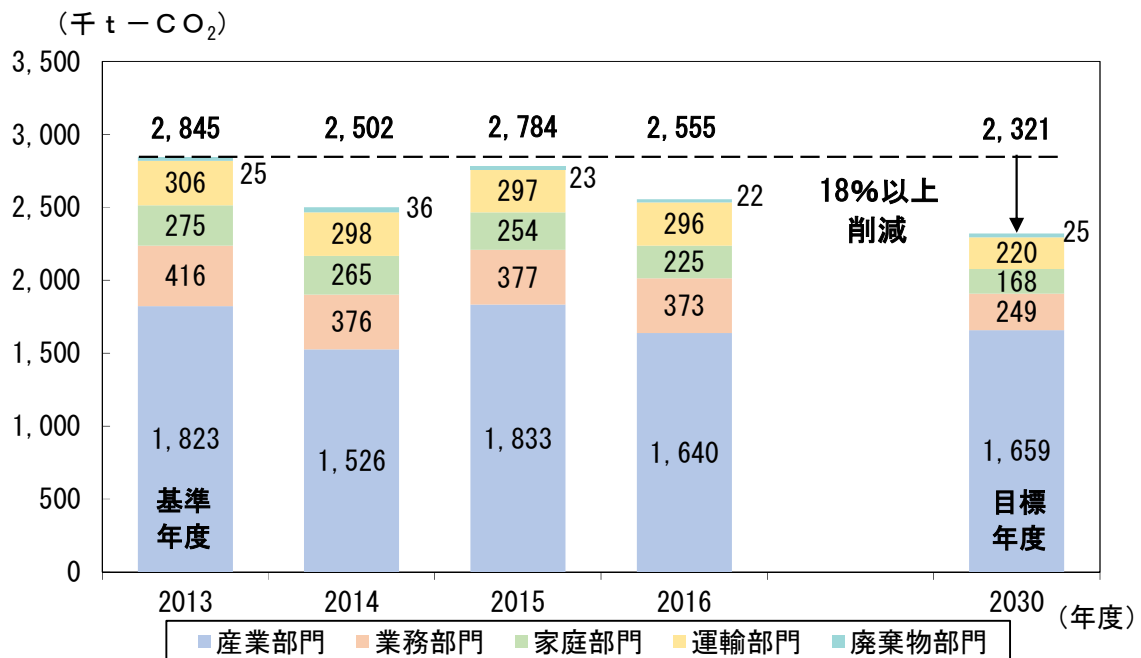
図3-1 土浦市の温室効果ガス排出量の将来推計

第2節 温室効果ガス排出量の削減目標

本市では、国が掲げる「政府実行計画*」の基準年及び目標年との整合を考慮し、基準年を2013（平成25）年度、目標年を2030（令和12）年度とします。

また、部門ごとの削減目標は、排出量の内訳の傾向が茨城県と類似することを鑑みて、茨城県地球温暖化対策実行計画の削減目標に準拠することとします。

各部門の削減目標は基準年度比で産業部門9%、業務部門40%、家庭部門39%、運輸部門28%、廃棄物部門は現状維持とし、全体では18%以上削減することとします（図3-2）。



※少数の計算の関係上、合計値が一致しない場合があります。

図3-2 本計画における温室効果ガス排出量の削減目標

温室効果ガス排出量を

2030（令和12）年度までに2013（平成25）年度比で

総排出量で**18%以上削減**を目指します

産業部門	9%削減 国の削減目安より2.5ポイント高
	1,823千t-CO ₂ （基準値）⇒1,659千t-CO ₂ （目標値）
業務部門	40%削減 国の削減目安と同等
	416千t-CO ₂ （基準値）⇒249千t-CO ₂ （目標値）
家庭部門	39%削減 国の削減目安と同等
	275千t-CO ₂ （基準値）⇒168千t-CO ₂ （目標値）
運輸部門	28%削減 国の削減目安と同等
	305千t-CO ₂ （基準値）⇒220千t-CO ₂ （目標値）
廃棄物部門	現状維持
	25千t-CO ₂ （基準値）⇒25千t-CO ₂ （目標値）

目標の削減量を金額に換算すると以下のとおりとなります。産業・業務・家庭・廃棄物部門は電気料換算、運輸部門はガソリン換算で金額を試算しています。

表 3 - 1 削減量の金額換算値

部 門	削減量 (千 t-CO ₂)	金額換算値
産 業	164	約 75 億円
業 務	167	約 76 億円
家 庭	107	約 49 億円
運 輸	85	約 44 億円
廃棄物	—	—
合 計	524	約 245 億円

※金額換算値はあくまで目安となります。

電気料換算 CO₂ (1kg) ≒46 円

ガソリン換算 CO₂ (1kg) ≒52 円

金額換算係数 電気：27 円/kWh (全国家庭電気製品公正取引協議会 新電力料金目安単価)
ガソリン：120 円/ℓ (石油情報センター 全国平均レギュラーガソリン価格)

CO₂排出係数 電気：0.587kgCO₂/kWh
ガソリン：2.322kgCO₂/ℓ